

## 商品登録

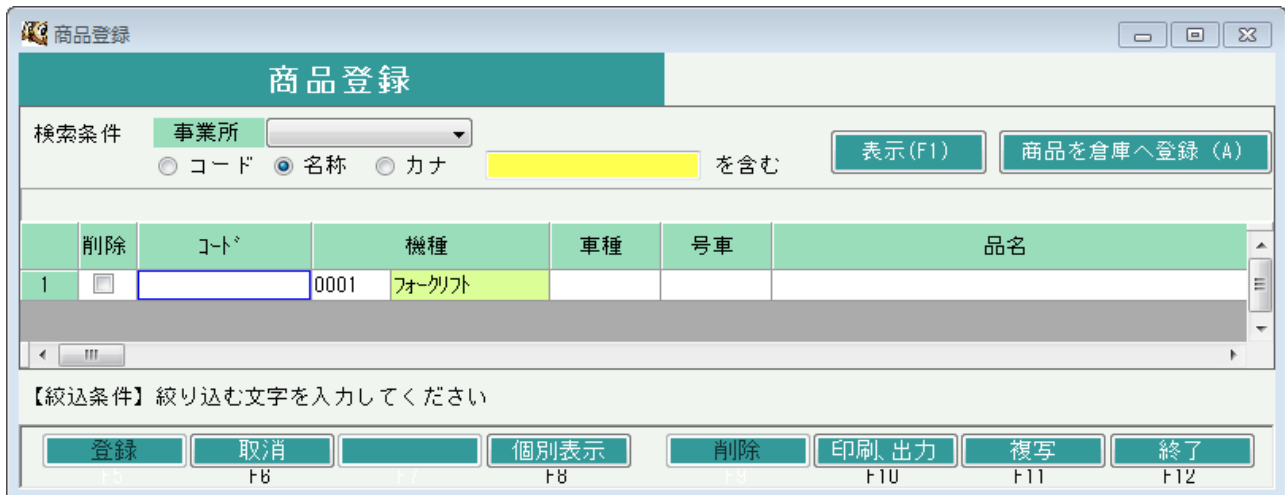
ふくろう販売管理で使用する商品を登録します。

登録した全ての商品は伝票入力や伝票・請求書・帳票類の検索条件、在庫系帳票の発行単位として使用できます。

### Point

- ・商品マスタを利用することにより、以下の業務が可能となります。
  - ① 伝票や在庫管理に必要な商品情報をマスタに登録しておくことで、伝票入力時に商品コードを指定すると自動表示できます。
  - ② 値引きや送料などの諸経費もあらかじめ商品として登録しておき、伝票入力時に指定できます。
  - ③ 入金を除く全明細表にて、商品ごとの伝票明細が確認できます。
  - ④ 入金を除く全明細表にて、商品ごとの伝票合計が確認できます。
  - ⑤ 帳票にて、商品別の売上金額、売上数量を確認できます。
  - ⑥ 在庫管理要否＝必要を設定しておくことで商品ごとの在庫を管理できます。
- ・品名は伝票入力時に画面に表示され、表示後に修正することもできます。  
実際に各伝票類や帳票類に印字されるのは、各伝票で入力された品名です。  
伝票で入力されたそれぞれの商品名は伝票データごとに情報を保持されます。  
**商品マスタにて、これらの項目を変更しても過去に登録された伝票の商品名は変更されません。**
- ・商品別ではなくまとめて値引する場合や諸経費を入力する場合はあらかじめ商品として登録しておき、伝票入力時に伝区＝値引、伝区＝経費を選択して値引用または経費用の商品を指定します。  
値引や経費の伝区の明細行は在庫増減に関係ないため通常は在庫管理要否＝必要で登録します。

## a) 商品マスタの項目説明（商品情報）



項目名称	説明	桁数	必須
コード	1～14桁までで指定します。 <b>Point</b> ・営業在庫一覧、帳簿在庫一覧では、コードの先頭桁数を指定して集計出力できます。	半角英数14桁	○
商品分類1 商品分類2 商品分類3	帳票出力やマスタ検索時の絞り込みに利用します。 選択リストは「補助分類登録」→「商品分類」から登録します。 <b>Point</b> ・商品分類のタイトルは運用設定で自由に設定できます。 ・商品分類は階層化しています。 商品分類2を指定する場合は商品分類1を、商品分類3を指定する場合は商品分類1と2を先に指定する必要があります。 ・商品分類1のみ入力必須です。	(選択)	○
品名	商品名を指定します。 各画面に商品名として表示されます。 マスタ検索では品名で検索することも可能です。  新規商品を登録時、「選択した商品分類1の名称+車種+号車」が品名に初期設定されます。	半角英数カナ40桁 全角文字20桁	○
カナ	商品カナ名を指定します。 マスタ検索ではカナ名で検索することも可能です。	半角英数カナ40桁 全角20桁	
略名	商品略名を指定します。 各画面に商品名として表示されます。	半角英数カナ20桁 全角文字10桁	○
商品種別	各伝票入力時に初期表示される商品種別を指定します。 商品種別は伝票入力時に変更できます。	(選択)	

項目名称	説明	桁数	必須
使用区分	「使用しない」にすると伝票入力時や検索時に表示されません。 マスタにはデータを残すことができます。	(選択)	
単位	商品の単位を指定します。リストからの選択か手入力で指定 します。 選択リストは「補助分類登録」→「単位」から登録します。	(選択) 半角英数カナ4桁 全角2桁	
単位重量	商品1つあたりの重量を指定します。 入力画面の計部にその伝票の商品総重量を表示します。	0～9999999	
画像	商品の画像ファイル名を指定します。 画像を登録しておく商品参照画面にも表示されます。  社内共有フォルダなどから選択する場合は「参照」ボタンで 選択できます。 パスは手入力も可能で、WEB上の画像を指定する場合は 「http」で始まるURLで画像パスを指定してください。	半角英数カナ 500桁 全角文字250桁	
コメント	商品のコメントを入力します。 帳票など使用する箇所はありません。参考情報として 使用してください。	半角英数カナ 500桁 全角文字250桁	
機材タイプ	リストから選択します。 建機・その他・・・車両以外の商品はこちらを指定します。 車両・・・自動車貸渡入力の商品に指定できます。 貸渡実績報告書の出力対象になります。	(選択)	
在庫管理 要否	在庫管理する場合は「必要」を、しない場合は「不要」を選択 します。 総値引や諸経費でのみ利用する商品は「不要」を設定します。	(選択)	
単品管理	単品管理場合は「する」を選択します。 在庫管理要否＝必要 を選択している場合のみ単品管理でき ます。  <b>Point</b> ・単品管理をする場合は商品を登録後、単品登録を行って 下さい。	(選択)	
貸渡書 /納品書印刷	「する」を選択している商品のみ貸渡書・納品書に印刷します。	(選択)	
出荷指示書 印刷	「する」を選択している商品のみ出荷指示書に印刷します。	(選択)	
商品区分	区分を使用する場合、1桁のカナ英数字を指定できます。 帳票での抽出に利用できます。  <b>Point</b> ・商品分類などで対応出来ない場合や特定の処理をしたい 場合に設定することで利用できます。(カスタマイズ) ・同じグループごとに同じカナ英数字を指定します。	半角英数カナ1桁	
事業所	主にこの商品を使用する事業所を選択します。 設定すると、マスタ検索で特定の事業所の商品のみを検索 することができます。  複数事業所で使用する場合は設定しません。(空白指定)	(選択)	

項目名称	説明	桁数	必須
金額端数区分	入在庫入力での在庫金額計算時(数量×単価)での少数以下の扱いを選択します。	(選択)	○
掛率使用 要否	伝票入力にて商品選択時、得意先、仕入先マスタに指定した単価掛率を適用するかどうかを選択します。 <b>Point</b> ・諸経費などの商品の場合、「不要」を選択して下さい。 (掛率適用しないのであれば)	(選択)	○
販売原価 計算法	受注入力、売上入力時の原価単価の計算方法を選択します。 商品種別＝販売のみ適用されます。	(選択)	○
棚卸評価法	帳簿在庫一覧表、営業在庫一覧表での単価計算方法を選択します。 入在庫入力での単価としても採用されます。 <b>Point</b> ・単品管理する商品で棚卸評価法に「在庫単価」を選択した場合、商品登録の「在庫単価」ではなく単品登録の「在庫金額」が在庫一覧表では集計されます。	(選択)	○
課税区分	伝票入力時に使用される課税区分(消費税率)を指定します。 売上やレンタルの通常分と、補償料を別々で設定できます。	(選択)	○
補償料タイプ 補償料率	伝票入力時の補償料の算出方法を指定します。 定率を選択した場合は補償料率を入力してください。  定額・・・ 補償料単価が採用されます。 補償料＝数量×延べ日数×補償料単価  定率・・・ レンタル金額×補償料率 が採用されます。 補償料＝レンタル金額×補償料率 定率の商品は伝票入力時に補償料単価を入力できません。	(選択)  補償料率は 0～255で指定	
保証日数	見積伝票、受注伝票の保証日数に初期表示されます。 商品マスタでは0～99の日数が指定できます。 伝票入力時、保証日数は「日極」「月極日割」の種別のみ入力可能です。	(選択)	
備考	備考を入力します。 帳票等には出力されません。メモ代わりにご利用ください。	半角英数カナ40桁 全角文字20桁	
備考2	備考を入力します。 帳票等には出力されません。メモ代わりにご利用ください。	半角英数カナ40桁 全角文字20桁	
備考3	備考を入力します。 帳票等には出力されません。メモ代わりにご利用ください。	半角英数カナ40桁 全角文字20桁	
得意先	商品と関連づけする得意先を指定します。 関連づけをすると、伝票入力にて商品マスタ参照時にSpaceキーにて絞り込み検索が可能となります。 (運用設定で絞込検索の設定をしている場合)	(選択)	
仕入先	商品と関連づけする仕入先を指定します。 関連づけをすると、伝票入力にて商品マスタ参照時にSpaceキーにて絞り込み検索が可能となります。 (運用設定で絞込検索の設定をしている場合) (仕入機能がある場合)	(選択)	

## b) 単価について

伝票入力時には、商品を指定すると商品マスタに設定した種別にしたがって単価が初期表示されます。

商品種別の分類によって、以下のように採用される単価は変わります。

- 一括・・・「レンタル 一括単価」
- 日極・・・「レンタル 日単価」
- 月極切替・・・「レンタル 月単価」、切替日単価欄には「レンタル 日単価」
- 月極日割・・・「レンタル 月単価」、端数日数は 月単価÷30 の日割り計算を行う。
- 減失・・・「減失単価」
- 上記以外・・・「販売単価」

また、一括～月極日割までのレンタル系の商品種別では、商品マスタに登録した補償料、基本料が初期表示されます。

(補償料単価が採用されるのは補償料タイプが「定額」の場合)

各単価には、一部を除いて標準原価単価～標準仕入単価があります。どの単価を採用するかは得意先や仕入先に設定した単価種類で変わります。

項目名称	説明	桁数	必須
標準原価単価	販売原価計算で標準原価を使用する場合、伝票入力時の原価単価に採用されます。  仕入先マスタの単価種類で標準原価を選択している場合、発注伝票、仕入伝票の単価に採用されます。 (仕入機能がある場合)	半角数16桁 (少数点含む)	
標準売上単価	得意先の販売/レンタル単価種類で標準売上単価を使用する場合や仕入先の販売単価種類で標準売上単価を使用する場合に採用されます。	半角数16桁 (少数点含む)	
売上単価1～売上単価4	得意先の販売/レンタル単価種類で売上単価1～売上単価4を使用する場合に採用されます。	半角数16桁 (少数点含む)	
標準仕入単価	仕入先の販売単価種類で標準仕入単価を使用する場合、単価を設定します。 (仕入機能がある場合)	半角数16桁 (少数点含む)	
減失単価	商品種別＝減失を指定した場合に採用されます。	半角数16桁 (少数点含む)	
在庫単価	棚卸評価法で在庫単価を選択している場合、帳簿在庫一覧表 営業在庫一覧表の単価に採用されます。 採用されます。  <b>Point</b> ・単品登録している場合は商品の在庫単価ではなく、単品登録の在庫金額が採用されます。	半角数16桁 (少数点含む)	

c) 付属品について

1商品につき10個まで付属品を登録することができます。

- ・ 登録済みの商品を付属品として指定します。
- ・ 付属品の商品コードとセットで数量も指定できます。
- ・ 見積入力、受注入力、売上入力画面で付属品が設定されている商品を指定すると、その直下行に付属品を表示します。
  
- ・ 付属品は親商品と連動して表示される以外に通常商品との違いはありません。
  - ・ 貸渡書、請求書に印刷されます。
  - ・ レンタルの場合は返却が必要です。
  
- ・ 見積入力、受注入力、売上入力、で、付属品の行は自由に削除、変更できます。
- ・ 付属品は親商品と連動して表示される以外に通常商品との違いはありません。  
(補償料単価が採用されるのは補償料タイプが「定額」の場合)